

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

島屋小	学校
-----	----

児童数	104
-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.70	20.05	28.49	37.26	39.72	9.40	149.26	22.56	50.19
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.46	17.32	30.65	37.04	31.54	9.92	133.72	13.32	50.36
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

①体力合計点では、男子、女子ともに全国・大阪市平均を下回った。種目別にみると、男子は全国・大阪市平均を4種目が上回り、3種目が下回った。立ち幅跳びは大阪市平均を上回った。女子は全国・大阪市平均を1種目が上回り、5種目が全国・大阪市平均を下回った。握力、反復横とびは大阪市平均を上回った。男女共に「20mシャトルラン」で課題がある。②質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目では、肯定的な回答が、男子は全国平均を4ポイント上回り（全国93.4%/自校97.4%）、女子は全国平均を4ポイント下回った（全国85.8%/自校81.8%）。③一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、全国と比較して男子で1.9ポイント低く（全国9.8%/自校7.9%）、女子で3.9ポイント（全国17.3%/自校21.2%）高かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、かけ足運動、なわとび運動、外遊び週間を実施することができ、運動することの楽しさを感じながら取り組むことができた。それに加え、今年度も校内研究の教科が体育科であることから昨年度よりも体育科の授業の質を高めることができた。【子どもが運動の楽しさを感じられる学習環境のデザイン～「できるまで」の過程を大切に学習活動を通して～】を研究主題に体育科の授業の質を高めてきた。体育科を通して、児童の運動やスポーツの知識や技能の向上が期待できる。

調査結果から、①柔軟性、持久力に課題がある。②1週間の総運動時間が少ない。③女子の運動に対する興味、関心が低いことが分かった。次年度は、運動習慣を身に着け、児童の運動意欲向上、運動に対する興味関心をもてる授業が必要だと考える。運動意欲が低い児童ほど運動時間は短くなっているため、体育科で運動の楽しさを感じられる授業をし、体育科から運動意欲を高められるようにする。柔軟性、持久力の課題については、体育的行事でかけ足運動、かけ足大会を実施し、児童に目標や目的を持たせ、意欲を高めながら持久力も高めていく。体育科の体づくり運動領域などで、柔軟性を高める動きを低学年から高学年にかけて計画に行えるように年間指導計画の見直しや授業内容の検討を行う必要がある。